

知りたい 雄年頃



「へえ〜！キミがモンスターなんだ！
アズリエルくんっていうんだね！よろしくね！」

えっと……ここにすれば
色々人間のことを
教えてもらえるって……

「その通り！流石モンスターは賢いね！
今から人間がいつもやってるイイコトを
特別に教えてあげよう！みんなには内緒だよ！
まずはその服に着替えてね！」

ホント！ボク……
がんばるよ……！！



「うん！ぴっちり具合がとてもいいね！
それじゃまずは私たちが君をよく知るために
身体検査をするよ。どこを触ってもおどろかないでね。」

う…うん…
人間は検査をするときに
こういうのを着るんだね…

なんだかとっても
下がスースーするよ…

「そつさ。人間は色々着替えながら他者との交流をはかるんだ。
まずは下半身を軽くすることで敵意がないことを示すんだよ。
いわば平和のアカシってやつさ。」

とろろ

とろろ

とろろ

すずすず

ゴゴ



これは胸当てみたいなのがついてるね…フシギ…その黒いモノはなに？

へえ…便利なものがあるんだね人間のためになんて…照れちゃうな…

あと…部屋が暑い…

「これはビデオだよ。こうやって日々の交流を記録に残すんだ。声も動きものこせるスグレモノさ！アズくん色々な姿もしっかりのこして人間の為に役立てるからね。」

「JKの汗は人類の夢だからね。キミはちよつと違うけど私たちの性的にはなんら問題ないよ。ちよつとした汗かき運動みたいなものだ。健康にいいんだよ。」

へえ…

モゾ

「さあ次は体にアブナイところがないかチェックしていくよ
アズくんには頭に角があるみたいだけど体にもいくつか突起があるよね
私たちにとって危なくないか調べさせておくれ。」

コイ

んっ…コレってそんな
アブナイものなの…?

ええ…そういうこともあるの？
こわいなあ…もっと調べてみて
ボクも安心したいし…

「モンスター同士で平気なものでも人間にはわからないもんなんだ。
ふむ…どうだい？つつかれたりしてなにかビームとか打ったりしないかい？」

ハア

ハア

「もちろんキミだけのだと不平等だからね
おじさんたちの突起も安全だつてわかってほしいんだ
その証拠にホラとてもぶにぶにしていかに無害だろう？」

ん…っ変なおいが
するよ…ッ

これは突起特有の挨拶なんだ変なおいをあえて
出して敵じゃないっていつてるんだよいわば友好のシルシかな
アズくんのもコンニチハしてるねうれしいなあ



「さあ！」からが本番だよ！
本当に仲良くなるために一緒にイイコトをしようね！」

っ……何してるの！
そ……あついよ……ッ

「アズくんの友好的のシルシをもっと大胆に出すんだ！
勿論手助けするからね！仲良くなるためにがんばろうね！」



あ

ん

じゅぽ

くちゅ

ぐぐぐ

んん

あ

アズ



や...やだ...
なんだかこわいよ...

「確かに怖いかもしれないね!でもみんな最初はなんでも怖いんだ!
それを克服するために、男の子ならみんなやるんだよ(大嘘)」

「まずはじっくり慣らそうね」

がっ

あー

びん

ちゅーん

びん

びん

びん

びん

「ふう…大分なじんできたようだね
どうだいなんだか体が変わったように感じないかい？」

わ…わからない…けど
すぐおしりのあたりが
むずむずするんだ…

ボク…
変になっちゃったのかな…

「それはとってもいい兆候だね！もうすぐで君のカラダが
完全に人間とナカヨシみになる兆じだよ。さあ仕上げといこうか！」

もぞ

ギッ

トッ

ズンズンズン

んぐ

トッ

フ

カ

ナ

ズン

グ
グ
グ

クネ

ん

グ
グ
グ

「ホラアズくんわかるかな？
おじさんたちのフレンドリー決意が
今キミとすごい近い距離にあるよ」

んん…変なカンジだよ…
人間はみんな…
こんなことしてるの…

んん♡

あ♡

んん♡

んん♡

んん♡

あ♡

「最初はそんなもんだよ
じきにとってもキモチヨクなるんだ！
もう少しの辛抱だよ！」

ズン♡

ズン♡



「ほろり！まずは二発目の
ナカヨシのだ！どうだい？」

「ブルン！」

「はっ」

「あたたかいものが
入ってくるよ…
ちよつと心地いい…かも…」

「いいね！これからドンドンナカヨシのを
出していくよ！受け止めてねッ！」

「はっ」

「はっ」

「はっ」

「はっ」

「はっ」

「はっ」

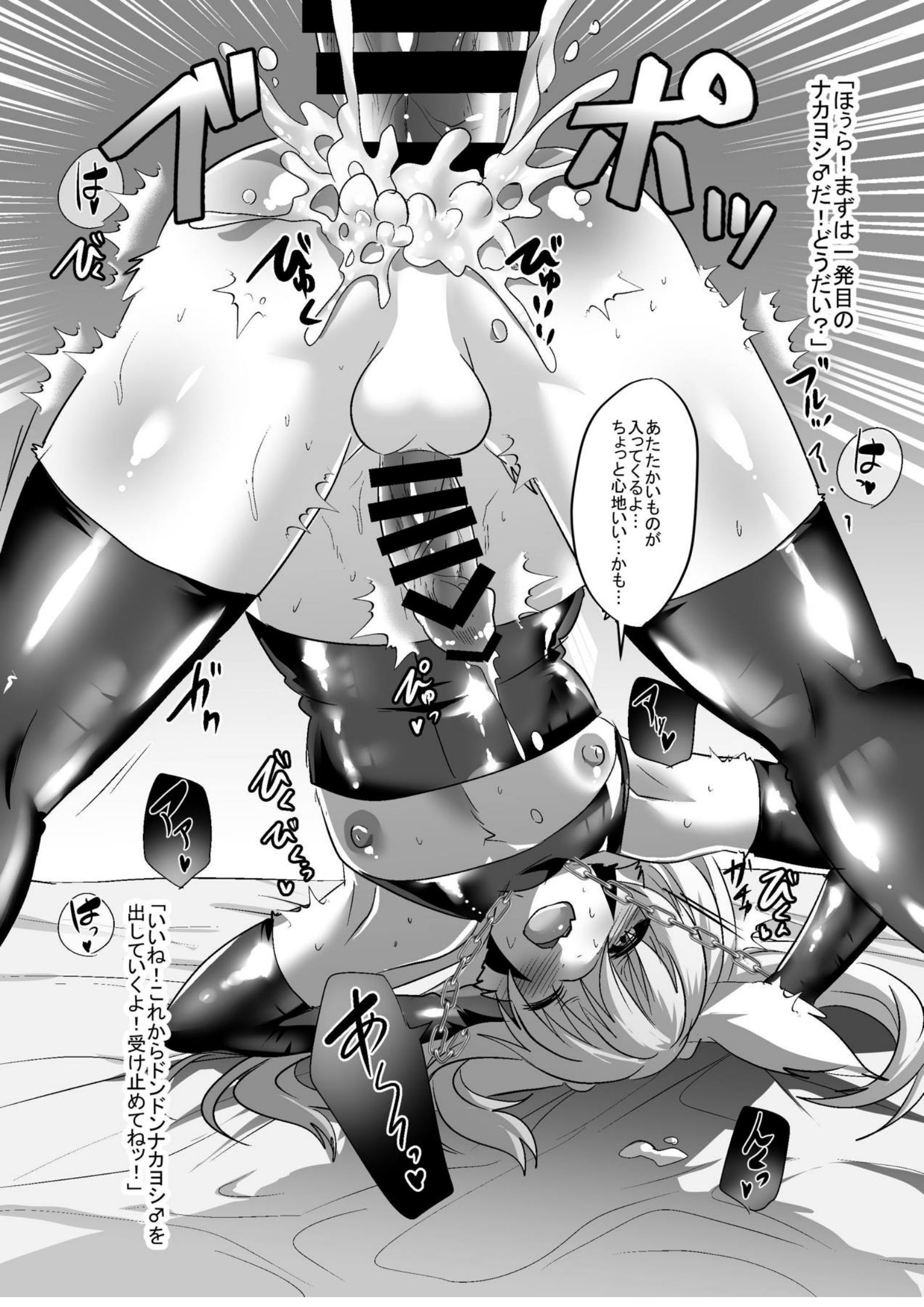
「はっ」

「はっ」

「はっ」

「ポッ」

「はっ」



「はあはあ…すごいよアズくん
キミはすばらしい名器いや…友達だよ！」

こ…これで人間とは
トモダチになれたの…？

「モチロンさ！明日はもっと大勢の人とトモダチみ
なろうね！楽しみにしておいてね♡」



これコスプレエッチっていうより早着替え本ですね
アイドルのライブとかでよくみるアレめっちゃ早いなって毎回感心します
平成初期の某魔女アニメでめっちゃ着替え手間取って
結局変身失敗したやつ思い出します
ギャグ成分はフリ攻めアンソロにおいてきたのでそっちもよろちくび

通販

アリスブックス

booth

お読みいただきありがとうございました



※この本の未成年者の閲覧・購読を禁じます。
また許可なしに本の中身のネットへのUP・無断転載・
二次配布・ネットオークションへの出品は絶対におやめください。
皆様のご協力とご理解をよろしくお願いします。

発行日: 2017/6/16
発行者: 瑠璃燕 (Pixiv id=300876)
印刷所: ポプルス
連絡先: kimuchinabe_naruga@hotmail.co.jp

pixiv



Shiritai Otoshigoro

千手亭